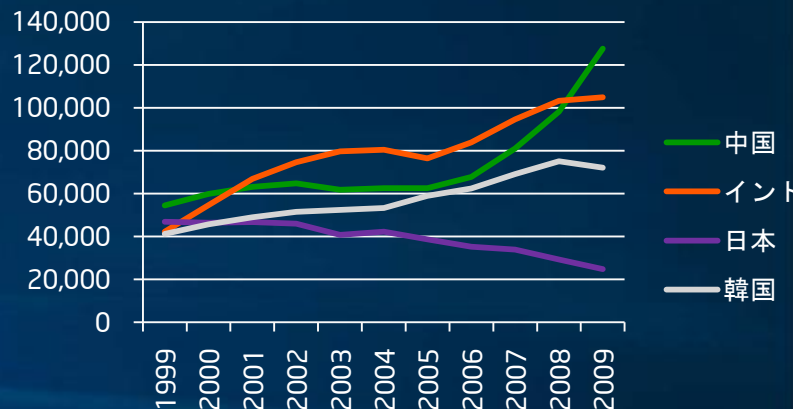


国際舞台における日本の次世代人材の現状

大学留学者数の減少

- ・アジア諸国との格差拡大が深刻化

Institute of International Education Open Doors 2010



Intel ISEF

- ・世界60カ国の1,500人を超す高校生が課題研究を競う国際科学コンテスト
- ・日本からはトップ3賞、部門最優秀賞が未輩出
 - ・コミュニケーション力の不足
 - ・研究のイノベーション、ビジョン、インパクトの弱さ
 - ・「高校生らしさ」を求める日本



photo: All rights reserved by alexandremartinazzo



Intel ISEF 過去10年 各国受賞数

トップ3賞

国	受賞数
米国	26
ドイツ	2
カナダ	1
中国	1
台湾	1
タイ	1
日本	0

部門最優秀賞

国	受賞数
米国	133
台湾	6
カナダ	4
中国	4
韓国	3
ブラジル	2
ドイツ	2
南アフリカ	2
デンマーク	1
ハンガリー	1
香港	1
インド	1
メキシコ	1
北アイルランド	1
ロシア	1
シンガポール	1
タイ	1
日本	0

- 本年度は韓国、中国、タイ、インドが部門最優秀賞を受賞し、アジア勢の活躍が目立った



アジアの国・地域



21世紀のグローバル人材“開発”に向けた提言 ～政策と現状のギャップを埋めるために～

新しい学力観の徹底

- ATC21S (Assessment & Teaching of 21st Century Skills)への注視
- 大学入試の在り方の見直しが高校の学力観の見直しにつながる

教員研修の充実

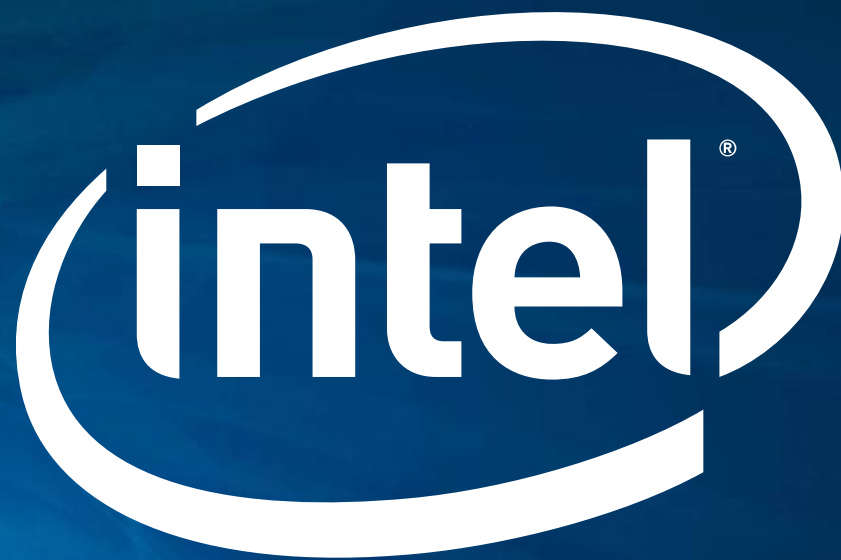
- 21世紀型スキル育成に向け、教授法を進化させる研修プログラムの実施
- 変革に素早く対応するためには、国主導での教員研修が必要(スピード)

教育政策の社会化・グローバル化

- 学んだ事がどう社会に役立つかを意識した教育の徹底
- 産学官連携
- 教育関係者のグローバル化

法務情報

- インテルは、本資料の内容をいつでも予告なく変更できます。
- 上記の情報は、インテルの一般の参考情報として公知の情報を引用したものが含まれており、インテルはそれぞれの情報の品質、信頼性、機能性、正確性についていかなる表明や保証もいたしません。前提条件に誤りや不正確さが認められた場合でも、インテルは一切の責任を負わないことを明示的に表明します。
- この文書は情報提供のみを目的としています。この文書は現状のまま提供され、いかなる保証もいたしません。ここにいう保証には、商品適格性、他者の権利の非侵害性、特定目的への適合性、また、あらゆる提案書、仕様書、見本から生じる保証を含みますが、これらに限定されるものではありません。インテルはこの仕様の情報の使用に関する財産権の侵害を含む、いかなる責任も負いません。また、明示されているか否かにかかわらず、また禁反言によるとよらずにかかわらず、いかなる知的財産権のライセンスも許諾するものではありません。



Sponsors of Tomorrow.



補足資料

ATC21Sの21世紀型スキル 評価手法を2015年PISAに導入見込み

ATC21S(Assessment & Teaching of 21st Century Skills)

- 2009年1月に発足
- OECDと連携して、21世紀型スキルの評価手法の確立を目的とする国際プロジェクト
- メルボルン大学を中心に、世界各国の学識経験者が参加
- 発起国:オーストラリア、フィンランド、ポルトガル、シンガポール、イギリス、アメリカ

PISAの動向

- 2015年:ATC21Sの評価手法の導入を予定